

報告事項1（周知・報告）

平成30年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の調査結果について

標記について、次のとおり報告する。

令和元年12月6日

児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果（小中学校）

1 暴力行為発生件数（千人あたり）（単位：件）

上段：発生件数 下段：(千人率)		27年度	28年度	29年度	30年度
小学校	府	2,693	2,336	2,207	2,753
		6.1	5.4	5.1	6.4
	全国 (公立)	16,835	22,240	27,696	35,910
		2.6	3.5	4.4	5.7
中学校	府	6,233	4,551	3,623	3,201
		28.2	21.2	17.3	15.7
	全国 (公立)	31,878	28,908	27,511	28,062
		10.0	9.2	8.9	9.3

2 いじめ認知件数（千人あたり）（単位：件）

上段：発生件数 下段：(千人率)		27年度	28年度	29年度	30年度
小学校	府	7,376	14,017	22,683	30,855
		16.7	32.1	52.3	71.5
	全国 (公立)	150,038	233,668	311,322	421,116
		23.3	36.7	49.0	66.5
中学校	府	2,340	3,168	3,873	4,212
		10.6	14.7	18.5	20.7
	全国 (公立)	57,032	68,291	77,137	93,921
		17.8	21.7	25.0	31.2

※解消率は上昇している。

3 不登校児童生徒数(千人あたり)（単位：人）

上段：発生件数 下段：(千人率)		27年度	28年度	29年度	30年度
小学校	府	2,048	2,365	2,513	3,063
		4.6	5.4	5.8	7.1
	全国 (公立)	27,333	30,172	34,732	44,471
		4.3	4.7	5.5	7.0
中学校	府	7,519	7,681	7,691	7,787
		34.0	35.7	36.7	38.3
	全国 (公立)	94,548	98,944	104,295	114,379
		29.5	31.4	33.8	38.1

児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果（高等学校）

1 暴力行為発生件数（千人あたり） （単位：件）

上段：発生件数 下段：(千人率)		27年度	28年度	29年度	30年度
高等学校	府立	432	348	331	357
		3.5	2.8	2.7	3.0
	府 (公立)	473	396	382	398
		3.3	2.8	2.8	3.0
	全国 (公立)	4,593	4,498	4,408	4,945
		2.0	1.9	1.9	2.2

2 いじめ認知件数（千人あたり） （単位：件）

上段：認知件数 下段：(千人率)		27年度	28年度	29年度	30年度
高等学校	府立	164	197	391	371
		1.3	1.6	3.2	3.1
	府 (公立)	177	215	407	392
		1.3	1.5	3.0	2.9
	全国 (公立)	9,724	10,017	11,212	13,134
		4.2	4.3	4.9	5.9

3 不登校児童生徒数（千人あたり） （単位：人）

上段：不登校者数 下段：(千人率)		27年度	28年度	29年度	30年度
高等学校	府立	4,512	4,322	3,921	3,918
		36.7	35.2	32.7	33.8
	府 (公立)	4,991	4,804	4,416	4,321
		35.8	34.6	32.5	32.9
	全国 (公立)	37,793	37,049	37,493	39,623
		16.6	16.4	16.8	18.1

通信制課程は含まない

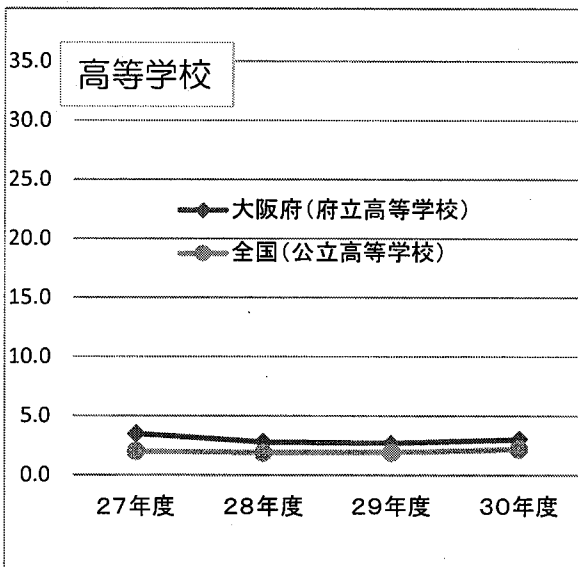
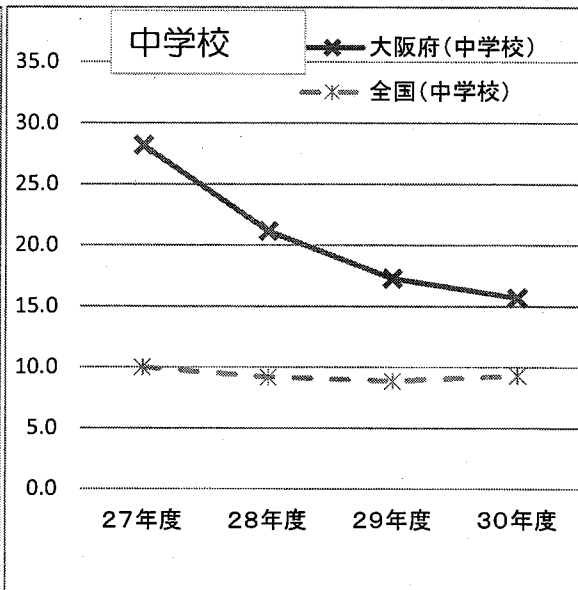
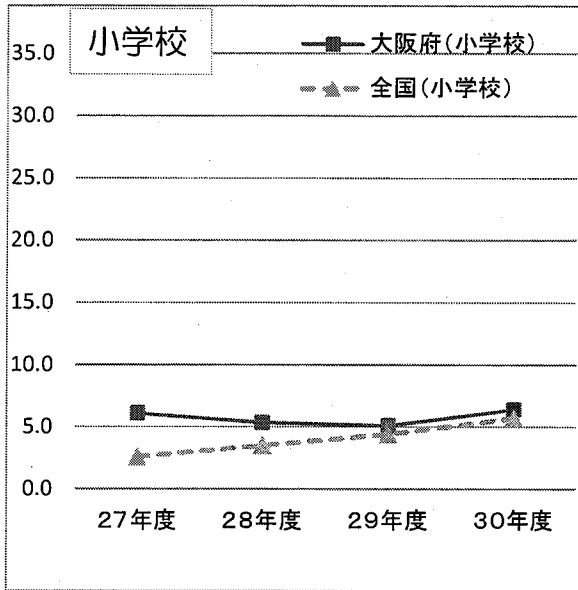
4 中途退学生徒数（％） （単位：人）

上段：中途退学者数 下段：(％)		27年度	28年度	29年度	30年度
高等学校	府立	2,651	2,337	2,382	1,952
		2.1	1.9	2.0	1.7
	府 (公立)	3,113	2,753	2,760	2,266
		2.2	2.0	2.0	1.7
	全国 (公立)	31,083	29,531	28,929	28,513
		1.3	1.3	1.3	1.3

平成30年度「問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」における結果について

1 暴力行為発生件数（千人あたり）

（単位：件）



ポイント

○小学校では、前年比24.7%の増加。「児童間暴力」が最も多いが、「対教師暴力」「器物損壊」の増加も顕著。指導基準の統一や「チーム学校」として暴力の背景分析と対応を進める支援体制構築に課題がある。

○中学校では、前年比11.6%減少。関係機関との連携等により「対教師暴力」の減少が顕著。1年生の暴力行為の多さが課題だが、小中連携によるスムーズな引継ぎで1年生の加害生徒数は減少傾向にある。

○府立高校では、前年度比7.9%増加。「生徒間暴力」が最も多く、全体の66.9%を占める。また、1年生の暴力行為の多さが課題であり、人権教育を土台にした良好な人間関係作りの取組みをさらに進める必要がある。

暴力行為態様別発生件数の推移

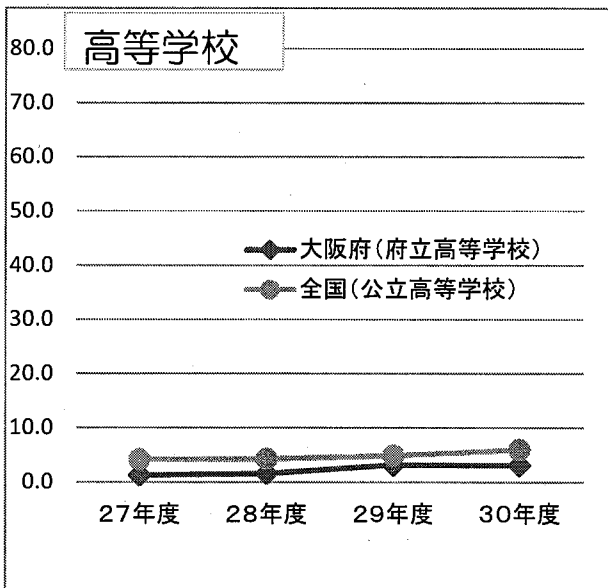
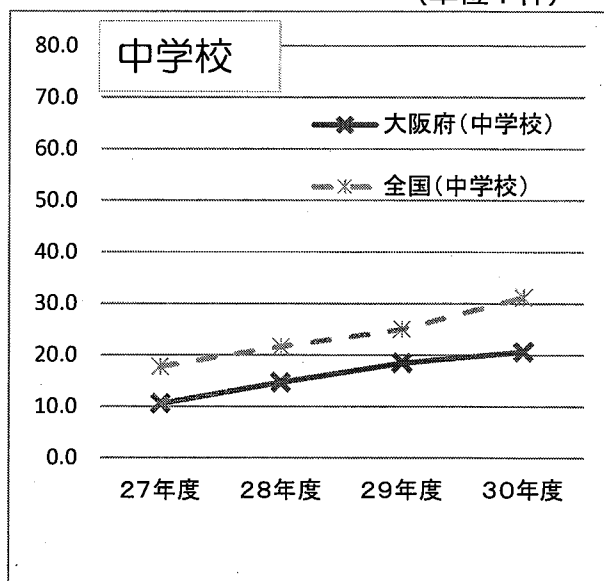
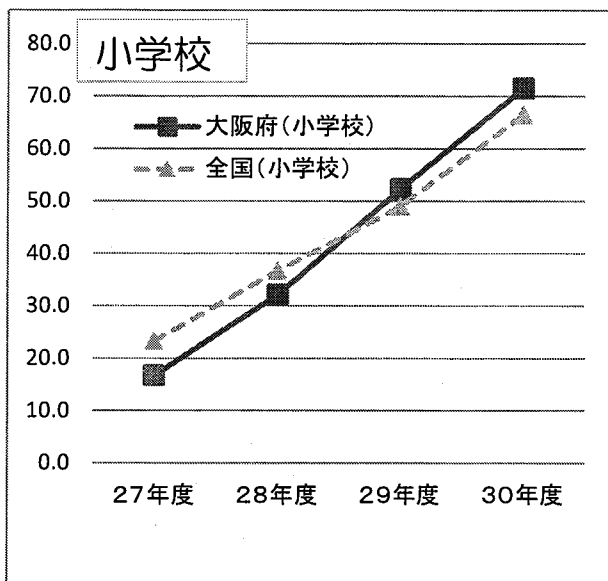
（単位：件）

		27年度	28年度	29年度	30年度
小学校	対教師暴力	546	380	348	512
	児童間暴力	1,646	1,541	1,561	1,793
	対人暴力	52	20	35	37
	器物損壊	449	395	263	411
中学校	対教師暴力	1,217	942	732	555
	生徒間暴力	3,575	2,872	2,287	2,089
	対人暴力	137	97	86	80
	器物損壊	1,304	640	518	477
高等学校 (全・定・通)	対教師暴力	65	64	44	49
	生徒間暴力	286	226	236	239
	対人暴力	21	18	7	12
	器物損壊	60	40	44	57

平成30年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」における結果について

1 いじめの認知件数（千人あたり）

(単位：件)



ポイント

○昨年度と比較すると、小学校の認知件数は36.0%増加、中学校の認知件数は8.8%増加した。全ての学校で年複数回いじめアンケートを実施し、積極的な認知が進んだものと捉えている。

○いじめの解消率は小学校では91.1%で、全国の84.7%より高い水準にある。積極的な認知から対応を進めた結果と捉えている。中学校では80.1%で、全国の82.8%より低い。

○いじめ重大事態については、特に小学校で増加している。教職員のいじめの認知や、迅速な対応のための学校体制、市町村教委の重大事態への対応に課題がある。

○府立高校においては平成29年度より、いじめに特化したアンケートを実施したことにより認知件数は増加傾向である。

○いじめの解消率は府立高校では87.6%で、全国の84.8%より高い水準にある。生徒に寄り添った対応を進めた結果と捉えている。

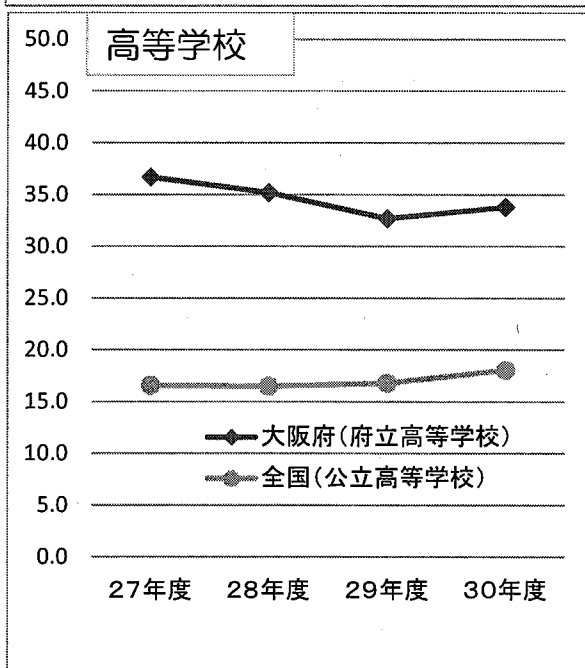
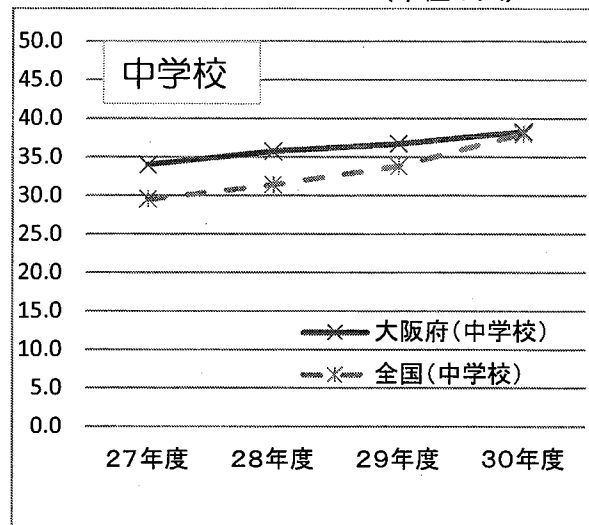
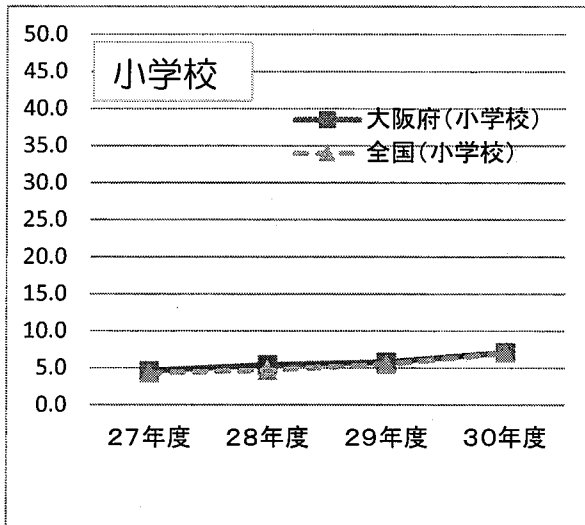
いじめの解消率

上段：解消件数(件)		27年度	28年度	29年度	30年度
下段：解消率(%)					
小学校	府(公立)	6,762	13,428	20,600	28,118
		91.7	95.8	90.8	91.1
	全国	135,602	213,094	268,864	356,653
		90.4	91.2	86.4	84.7
中学校	府(公立)	2,082	2,917	3,129	3,374
		89.0	92.1	80.8	80.1
	全国	49,019	60,720	64,683	77,769
		85.9	88.9	83.9	82.8
高等学校(全・定・通)	府立	128	180	332	325
		78.0	91.4	84.9	87.6
	全国(公立)	8,193	8,959	9,507	11,139
		84.3	89.4	84.8	84.8

平成30年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」における結果について

1. 不登校児童生徒数（千人あたり）

(単位：人)



ポイント

- 小学校では全ての学年で増加、特に高学年での増加が顕著。高学年において友人関係への不安や家庭環境の厳しさに起因する新規不登校者数が増加した。
- 中学校でも増加しているが、全国の傾向と比較すると、増加の割合は抑制傾向だが、1年生で新規の不登校者数が多い。何らかの課題をもつ生徒が、友人関係や学習など新たな環境に対して不適応をおこしているものと捉えている。
- 大阪府（国公私）においては全国ワースト2位であり、依然として高い状況。府立高校でも前年度より微増しており、全国水準とは開きがある。不登校の要因として「無気力」が最多であり、良好な人間関係作りの取組みをさらに進めることに加え、基礎学力をきちんと身に付けさせることが必要である。

大阪府における不登校の要因

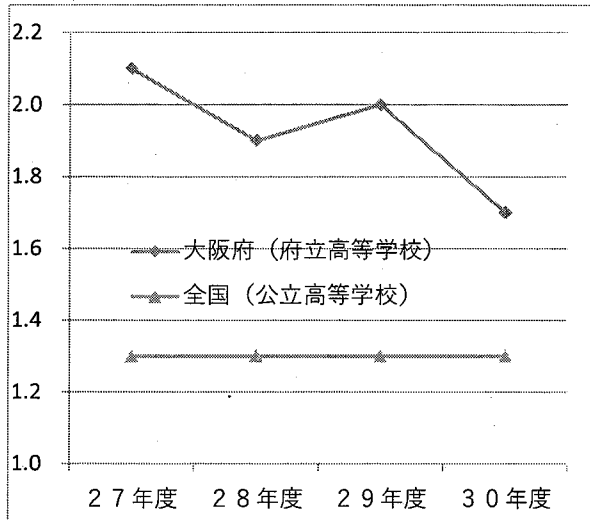
(単位：人)

		27年度	28年度	29年度	30年度
小学校	学校での人間関係	296	299	303	393
	あそび・非行	22	24	26	33
	無気力	690	772	774	921
	不安	648	698	855	986
中学校	学校での人間関係	1,230	1,230	1,282	1,405
	あそび・非行	912	733	653	486
	無気力	2,401	2,653	2,602	2,686
	不安	1,948	1,996	2,207	2,296
高等学校 (全・定)	学校での人間関係	349	362	325	471
	あそび・非行	793	682	773	572
	無気力	2,275	1,782	1,655	1,601
	不安	619	459	471	587

平成30年度「問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」における結果について

1 中途退学者数及び中途退学率の推移

中途退学率推移 比較



ポイント

- 府立高校においては、全日制および定時制の中途退学者数が共に減少している。
- 大阪府（国公私）で見ると、中途退学率は全国ワースト11位。府立高校における中途退学率は改善傾向にあるものの、全国水準とは開きがある。
- 学校生活に関する理由としては、「高校生活に熱意がない」が最も多く、入学時から、生徒の生活背景をきちんと把握した上で、きめ細かな支援を行う必要がある。

上段：中途退学者数（人） 下段：中途退学率（%）		27年度	28年度	29年度	30年度
高等学校 (全・定・通)	府立	2,651	2,337	2,382	1,952
		2.1	1.9	2.0	1.7
	全国 (公立)	31,083	29,531	28,929	28,513
		1.3	1.3	1.3	1.3